

区政のここが聞きたい 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



区民栄誉賞設立と 保育園に防災備蓄品の整備を

自由民主党目黒区議団 栗山 よしじ 議員

<区民栄誉賞>
区民栄誉賞を設立し、日本選手でオリンピック史上最年長で出場した目黒区出身の法華津選手を表彰せよ。

区長 現行の「目黒区民賞」を時勢に合わせて刷新し、適時適切に対応できる表彰制度としていく。表彰は、ご本人の意思を確認して対応していく。

<災害対策>
(1)私立の認可保育園等にも、防災備蓄品を整備せよ。(2)認可保育園や認証保育園等と協力して乳幼児用品などの防災備蓄品等を整備し、保護者等からの要望があれば提供するなどの対策を考えよ。(3)学校屋上に学校名表示(ヘリサイン)を整備せよ。防災協定等を締結している私立学校等にも協力を要請せよ。

区長 (1)私立を含め保育施設での防災備蓄品のあり方について、国や東京都等の補助制度の活用などを検討していく。(2)備蓄量や配分など課題があるため、地域防災計画改定の中で検討を進める。(3)防災上改修などの機会に、ヘリサインの設置を計画的に進めていく。私立学校等とも、調整を図っていく。

<国際交流>
(1)区議会では国際議員連盟を発足し、区内大使館等との交流等を検討する予定である。区側でも積極的に大使館や海外

との交流・自治体国際化協会からの情報収集などを行うべきではないか。(2)日韓友好目黒区議員連盟が、韓国を訪問した。今後の韓国との交流を、どのように検討しているのか。

区長 (1)区内大使館との交流は、継続して努めていく。情報収集のあり方を検討しながら、海外交流について調査研究していく。(2)ソウル特別市中浪区(チュンナング)から友好交流の要望があり、今年度中に交流の方向性をとりまとめたと考えている。

<小中学校の家庭訪問>
家庭環境を知ることは大変重要であり、入学や転入時には家庭訪問を行うべきではないか。

教育長 保護者面談などさまざまな手段を用いて、子どもたちの家庭環境などの把握に努めていく。

<社会保障・税一体改革関連法案>
国会で可決成立したが、目黒区においても安定した財源の確保など、区財政及び実施計画にどう影響するか。

区長 地方消費税率引き上げは、平成26年度予算から影響が出るが、実施計画はこれを加味して改定する。区は引き続き歳出を抑制し、将来に向け財政の健全化に取り組んでいく。



サービス付き高齢者向け住宅の整備 今後のスポーツ行政

刷新めぐろ 青木 早苗 議員

<高齢者の住まい>
第5期介護保険事業計画では、新たなサービス付き高齢者向け住宅の整備等について掲載しているが、どの程度検討が進んでいるか。

区長 サービス付き高齢者向け住宅は、民間事業者が東京都に登録する仕組みで、区は実態の把握等に努めている。

<今後のスポーツ行政>
平成23年度にスポーツ行政が、教育委員会から区長部局へ移行された。(1)昨年度は、どのような成果があったか。(2)スポーツ基本法を受けて、目黒区はどのようなスポーツ計画を策定するのか。今後のスポーツ行政をどう展開するのか。

区長 (1)休止した健康フェスティバル事業をスポーツまつりに取り込んで行う

など、庁内の連携・協力で円滑な実施に努めることができた。(2)諸条件を整理して策定に向け検討を進めていく。基本構想等に基づき、スポーツを通じて健康づくり等を促進しつつ、諸分野と連携した地域づくりの展開を図っていく。

<特別支援教育モデル事業>
(1)本事業の実施で、どのような効果が期待できるか。(2)全校に特別支援教室を設置後、通級指導学級はどうか。

教育長 (1)児童は、在籍校で学校への適応状態に応じた指導を受けられるようになり、能力等を伸ばせると考える。(2)通級指導学級には専門的教員を配置し、拠点校としての役割を担うようにしていく。



『全ての人が安心安全に暮らせる目黒』を目指せ

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

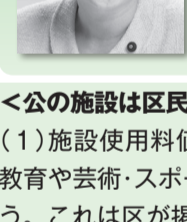
<災害時の電源確保>
他自治体では、公共施設の屋根を民間に貸し出して、民間資本で太陽光発電装置を設置し、災害時には公共施設の非常用電源として提供してもらう事業が始まった。目黒区でも同様の事業を行い、災害時の電源を確保せよ。

区長 太陽光発電は、夜間発電ができないなど災害時の対応という観点からは慎重な対応が必要である。技術革新の動向を注視しながら、区有施設の改築等の際に導入を検討していく。

<マイナンバー制度>
(1)社会保障・税番号としてマイナンバー制度が導入された場合、個人情報の保護や仕組みについて、区はどう考えるか。(2)緊急時の障害者や高齢者の安心安全対策として、個人の医療情報把握や安否確認等の救済策について区の考えを伺う。

<公園トイレ>
和式便器は、窮屈で体勢が不安定になる。安心して利用できるように、(1)簡易洋式便座を取り付けて対応せよ。(2)トイレ内部に緊急通報装置(防犯ブザー)を設置できないか。

区長 (1)耐久性などの課題を検証し、可能であれば簡易洋式便器を設置していく。(2)いたずらへの対応や費用負担など課題があり、研究課題とする。



施設使用料値上げやめよ! 安心できる在宅介護を

日本共産党目黒区議団 石川 恭子 議員

<公の施設は区民の福祉増進の場>
(1)施設使用料値上げは、住民の社会教育や芸術・スポーツ活動などの場を奪う。これは区が掲げる「文化と香りの高いまちづくり」に反するのではないか。(2)行革計画の2.4倍の値上げで、1億2,000万円の区民負担増は許されないと思うがどうか。(3)値上げの理由に「利用者と未利用者の公平性の確保」を持ち込むのは、誤りではないか。(4)区民への説明もない一方的な値上げは、住民参加をないがしろにするのではないか。

区長 (1)まちの将来像を目指しサービスを安定して提供するには、歳入面で財源を確保する必要があるため、使用料見直しはまちづくりに逆行するものではない。(2)利用者負担は、改定後も維持管理費の約22パーセントにとどまる見込みで、適切な対応と考える。(3)使用料を低くすると、施設経費を税でより多く負担することになり、区民全体の税負担に影響する。利用者には適切な受益者負担をしていただく。(4)機会を捉えて区民等へ説明をしご意見をいただいております。住民参加の趣旨に反することはない。

<安心して介護が受けられるために>
(1)介護報酬改定で生活援助が削減さ

れ、利用者に困難な事態が生じている。実態を調査し、国に見直しを働きかけよ。デイサービスの時間改定で、職員の労働は厳しくなり事業者の運営にも影響が出ている。実態を調査し、国に見直しを働きかけよ。(2)廃止した介護職員賃金引き上げの交付金について、国に復活を働きかけよ。(3)特別養護老人ホーム待機の重度者に、在宅介護を支えるために区独自のホームヘルプを。

区長 (1)利用実績等を注視し、改定による効果や影響を評価するため、今は国へ働きかける予定はない。(2)介護職員処遇改善加算は、次期介護報酬改定で介護報酬本体に組み込まれるため、国へは要望しない。(3)介護者へは在宅支援ヘルパー派遣等を実施しており、区独自にサービスを実施する考えはない。

<守屋教育会館跡地の有効活用>
(1)跡地活用の検討をどのようにしてきたか。(2)住民参加の跡地検討委員会を設置せよ。

区長 (1)短期的利用など、さまざまな観点から検討している。(2)有識者による検討委員会を設置し、検討状況を区民等へ公表しご意見をいただくため、個別に検討委員会を作る考えはない。



自由が丘駅前広場で転倒続出 代表監査委員は罷免を!

無所属・目黒独歩の会 須藤 甚一郎 議員

<事故防止策>
自由が丘駅前広場が大改修された。が、階段や段差がありバリアフリーではない。しかも複雑な傾斜があり階段がよく見えない。高齢者が階段で頭から墜落し出血。自転車に乗った学生が真つ逆さまに転倒するなどの事故続出だ。防止対策はどうか。

区長 自由が丘駅前広場はバリアフリーの対応をしているが、ご指摘のような事故の発生を踏まえ、階段について手すりの設置など視認性をさらに高める安全対策を速やかに講じていく。

<違法看板>
中目黒駅ガード下の都道・山手通りに違法看板がある。区の行政区域内だが、なぜ区は撤去しないのか。

区長 国道・都道に置かれた違法広告等について、法令上、区では除却できない。道路管理者に除却を要請するとともに、区は警告等を行っている。

<区営洋弓場の事故>
3年前に発生した死亡事故の損害賠償裁

判は、示談金約8,900万円で示談成立。指定管理者のアクティオ(株)は、約330万円の示談金を払った。区の責任はどうか。依然同じ運営形態でいいのか。

区長 民事訴訟での和解金は早期解決のためで、指定管理者の法的責任を認めたものではなく、区に法的責任はない。事故は施設及び管理の瑕疵に起因したものでなく、当該指定管理者の指定を取り消す理由はないと判断する。

<監査委員失格>
横田代表監査委員は総務部長、企画経営部長だったので、就任後3年で8件もの監査で、利害関係者として排除されたが、月額報酬64万円余を得ている。しかも率先して区財政難解明の監査もせず。罷免したらどうか。

区長 監査委員が監査執行上の除斥となる場合があることは、地方自治法第199条の2で規定されている制度で問題はない。また、同法197条の2の罷免事由に該当する事実はないため、その意に反して罷免されることはない。



詐欺被害から区民を守れ 地域と連携した街づくりを

自由民主党目黒区議団 清水 まさき 議員

<特殊詐欺等被害の防止>
(1)「振り込め詐欺」を含む「特殊詐欺」について、被害の認知数、被害額の推移を、どう認識しているか。(2)増加する消費者問題相談の現状と、今後の課題と対策を問う。(3)高齢化が進む中、悪徳商法のトラブル早期発見・解決に際し、地域コミュニティと区の役割をどう考えるか。

区長 (1)統計のある振り込め詐欺の被害額は年によって異なり、警察署とも連携し、注意喚起等の対策を継続する。(2)支払い方法の多様化で、解決が難しく、相談体制を充実させていく。(3)「高齢者見守りネットワーク」の協力等で、区と地域コミュニティ等が連携して詐欺被害を防いでいくことが重要と考える。

<学校施設のトイレ整備>
(1)災害時避難所としての役割を担う学校のトイレについて、区はどう考えているか。(2)学校トイレの洋式化で、機能改善・環境向上について区の認識を問う。(3)環境問題と児童、生徒の心を育む学校トイレのあり方について聞く。

教育長 (1)災害時に、区民等が一時的に生活の場として利用する視点も、学校トイレに必要な要素と考える。(2)保護者・学校から洋式化について多くの要望があり、順次改善していく。(3)明るい施設は丁寧に利用されるため、学校トイレを順次改修していく。トイレ清掃は、学校を大切にす意識を養う貴重な体験と考える。

<目黒駅周辺地区整備構想>
(1)目黒駅周辺地区整備の現状と課題について、区としての認識を問う。(2)街づくりの目標、地域の将来像について、地域コミュニティと区の連携について問う。(3)区境の目黒駅を中心として、街づくりにおける他区との連携はどうか。

区長 (1)駅近の立地で暮らしやすい条件が整っている反面、課題も多いと認識している。(2)街づくりは、地域の実情に即して取り組むことが大切で、コミュニティの維持・発展を図りながら、地域と連携して進めていく。(3)必要に応じ品川区に協力を要望する等、連携して街づくりに取り組んでいく。

傍聴においてください

目黒区議会では、定例会(2月、6月、9月、11月の年4回)、臨時会、委員会(常任委員会、議会運営委員会、特別委員会)の傍聴ができます。傍聴は議会活動に触れる身近な機会ですので、ぜひおいってください。傍聴をご希望の方は、区議会ホームページや区議会だよりなどで区議会・委員会の日程をご確認の上、当日、総合庁舎5階の区議会事務局においてください。申し込み書に住所・氏名をご記入いただければ、どなたでも傍聴できます。当日の会議の状況を撮影・録音を希望する場合は、申し込みの際にお申し出ください。なお、傍聴席では飲食禁止など、傍聴するにあたって守っていただくことがありますので、ご協力願います。 <問い合わせ>区議会事務局庶務係 ☎03-5722-9413



『3.11』を忘れない 細川元総理に学べ。

みんなの党目黒区議団 松田 哲也 議員

<脱コンクリート・緑の防波堤>
宮城県議会も全会一致で推進決議をした「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」に対する支援を行うべきだ。

区長 国や県の復興計画との整合性などの課題があり、今後の状況の推移を見ながら支援等の検討を進めていく。

<脱原発・CO2削減>
東京電力以外から電力を購入できる区有施設は、まだ半数ある。再生エネルギー買収制度の活用やCO2削減エコポイントも導入せよ。

区長 特定規模電気事業者の供給能力等を考慮し、可能な施設は導入していく。太陽光発電設備の設置には、費用や屋上強度の課題があり検討していく。ポイント制度は先行自治体の制度を研究していく。

<家族の絆>
3世代近居助成制度導入によって、政府の「働くなでしこ大作戦」推進と少子化の改善も図れ。

区長 親世代との近居・同居が、女性の社会進出や少子化対策に効果があるか判断は難しく、調査・研究課題とする。

<ミニマムインカムの保育>
行政は0歳児1人につき約50万円の保

育コストをかける。現金給付を選択できるようにし、2歳児までは自分で育てたいという親が、ムリに働きに出る環境は解消せよ。

区長 現金給付による保育の取り組みは、財源のあり方や効果の検証方法など課題が多く、現時点で検討することは難しい。

<世界と日本の架け橋>
コミュニケーション能力を、どう習得させるのか。首長が教育目標を設定し、それまでの間、教育長が教育演説をせよ。

教育長 区独自の「言語活動指導計画」等でコミュニケーション能力の伸長を図っていく。教育目標等に基づくめぐろ学校教育プランに沿って施策を推進し、執行状況等を議会で報告しているため、首長による教育目標の設定は必要ではない。

<古典の日制定>
古事記1300年、方丈記800年の節目を契機に、日本の文化・歴史を深く知る人材を育てよ。

教育長 子どもたちが古典や歴史を通じて、言葉の美や伝統等を理解し尊重できる態度を育むよう、各校を指導していく。



一つ一つの施策を 現実に即し細部まで見直しを

公明党目黒区議団 武藤 まさひろ 議員

<自治体クラウド>
自治体が住民情報を、民間のデータセンターで保有し、利用する自治体クラウドがある。複数の自治体が共同利用することで大幅なコスト削減が可能である。また、震災などでの住民情報消失を防ぐ効果もある。区としての導入の考えを問う。

区長 クラウド方式によるコンピュータシステムは、経費及び災害対応の面でメリットがある一方、セキュリティ対策や他自治体との業務の統一化や標準化等に取り組むことなどの課題が想定される。導入や再構築については、今後検討していく。

<カラスネット利用推進>
ごみ集積所には、カラスネットを管理して利用している所と、利用していない所がある。利用を推進するため、集積所設置の相談時にカラスネットの管理を始める対応が必要と考えるが、区の認識を問う。

区長 集積場の美化・衛生環境を守るため、カラス被害の防止対策として、ごみ出しルールの徹底や防鳥用ネットの貸与を積極的に進めていく。

<水の確保>
災害時の給水所は、八雲給水所と林試の森公園である。八雲給水所は無入施設のため、鍵開けから施設運用などの対応について伺う。

11月22日(木)	議会運営委員会・本会議(一般質問)
26日(月)	本会議(一般質問)
27日(火)	議会運営委員会・本会議(議案付託)
28日(水)	常任委員会
29日(木)	〃
30日(金)	区有施設等調査特別委員会
12月6日(木)	議会運営委員会・本会議(議案議決)

*本会議の開会は午後1時、各委員会の開会は午前10時の予定です。



傍聴席